
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2010年第51週
(12月20日～12月26日)

* 2011年1月5日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成23(2011)年1月6日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2010年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週		51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							2
	結核	72	63	67	70	4,072	362	25,695
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2		11
	細菌性赤痢	3	1	1		85	5	232
	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	2	1	338	12	4,102
	腸チフス					12	1	31
	パラチフス					5		21
四類	E型肝炎				1	9	2	65
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					45	2	342
	エキノコックス症					1		12
	黄熱							
	オウム病						1	11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病		1	2		13	20	385
	デング熱	3				68	2	241
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	1	130
	日本脳炎							4
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア					28	1	74
野兎病								
ライム病					1		12	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		4	
レジオネラ症			1	1	55	15	718	
レプトスピラ症					2		22	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	7	2	4	173	10	821
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	2	1	1	48	1	217
	急性脳炎 *2					14	2	231
	クリプトスポリジウム症					3		16
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		15	2	164
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1	20	1	123
	後天性免疫不全症候群	6	14	9	17	499	38	1,502
	ジアルジア症					13	2	80
	髄膜炎菌性髄膜炎							7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	5	6	3	172	9	604
	破傷風					5	3	103
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		2		17	3	119
	風しん	1		2	1	15		87
麻しん	1	3	2	3	77	9	452	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	—
2011/1/5集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 70件 肺結核39件、その他の結核29件、肺結核及びその他の結核2件で、推定感染地は国内69件、中国1件、年齢は5歳未満2件、20歳代9件、30歳代10件、40歳代13件、50歳代10件、60歳代13件、70歳代7件、80歳代6件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者。血清型・毒素型はO157(VT2)で、年齢は30歳代であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、年齢は60歳代。推定感染地は国内で、推定感染経路は水系感染である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件 全て腸管アメーバ症。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、異性間1件)、その他(不明)2件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型。推定感染地は中国及びカンボジア、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群で、血液及び壊死軟部組織から菌が分離・同定された。感染経路はその他(不明)である。

後天性免疫不全症候群 17件 無症候キャリア13件、AIDS2件、その他2件。無症候キャリア及びその他の年齢は20歳代2件、30歳代8件、40歳代2件、50歳代2件、60歳代1件、AIDS患者の年齢は30歳代1件、60歳代1件である。推定感染地は国内15件、インドネシア1件、不明1件、推定感染経路は性的接触15件(同性間12件、異性間3件)、静注薬物1件、不明1件であった。

梅毒 3件 全て早期顕症梅毒Ⅱ期。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触(同性間)2件、その他(不明)1件であった。

風しん 1件 臨床診断例で、年齢は5歳未満、風しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

麻しん 3件 麻しん(臨床診断例)2件、修飾麻しん(検査診断例)1件。年齢は5歳未満2件、10歳代1件で、麻しん含有ワクチン接種歴は無し2件、1回1件であった。

※第50週該当分として、五類 梅毒 1件(早期顕症梅毒Ⅱ期)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2010年51週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		48週	49週	50週	51週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	94	108	125	115	0.78	147	150
	咽頭結膜熱	84	89	120	83	0.56		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	352	385	469	419	2.85		
	感染性胃腸炎	2,652	2,902	2,965	2,505	17.04		
	水痘	236	251	299	307	2.09		
	手足口病	25	19	21	28	0.19		
	伝染性紅斑	82	102	84	114	0.78		
	突発性発しん	88	81	77	67	0.46		
	百日咳	3	1	14	6	0.04		
	ヘルパンギーナ	6	15	6	4	0.03		
	流行性耳下腺炎	71	56	64	41	0.28		
	不明発しん症(注1)	10	9	6	7	0.05		
MCLS(川崎病)(注1)	1	3	2	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	219	301	451	665	2.34	284	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	0	2	0.05	39	39
	流行性角結膜炎	27	37	37	39	1.00		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	0	1	0.04	23	25
	無菌性髄膜炎	1	0	1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	16	14	16	22	0.96		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	1	2	0	0.00		

2011/1/5集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。しかし感染症法施行(1999年)以来、同時期としては最も多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。しかし現在は警報が出ている状況であり、注意が必要である。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は8週連続して増加した。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。

(定点医療機関からのコメント)

北区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:患者数が減少し始めました。

※ インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年51週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	17			16	3			3		
～11か月	19	2	2	131	18	1		32		
1歳	39	15	6	313	44	10	3	24		1
2歳	25	14	9	212	39	5	4	6		1
3歳	10	13	31	227	45	3	7	2	1	
4歳	1	14	49	236	44	2	11			
5歳	1	11	64	216	41	2	17			
6歳	1	2	44	166	23	3	27			1
7歳		3	51	171	18		21			
8歳		2	50	112	13	2	10			
9歳		1	24	91	5		6		1	
10～14歳		3	60	247	10		2		2	
15～19歳			3	44			1			
20～29歳	2	3	26	323	4		5		2	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	115	83	419	2505	307	28	114	67	6	4
先週比	-10	-37	-50	-460	8	7	30	-10	-8	-2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		1		
～11か月		2		5		
1歳	1	2	1	13		1
2歳	4	1		21		2
3歳	4		1	29		1
4歳	5			44		
5歳	4			48		3
6歳	5			40		3
7歳	1			49		
8歳	4			33		
9歳	3			25		
10～14歳	8			64		
15～19歳	1			30		1
20～29歳	1			81	1	7
30～39歳				82		9
40～49歳				58	1	6
50～59歳				21		
60～69歳				16		1
70～79歳				3		5
80歳以上				2		
合計	41	7	2	665	2	39
先週比	-23	1		214	2	2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年51週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳	1	2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	3

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年51週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	3	1		23	3		2	1		
中央区				6	4		1	2		
みなと	6	3	10	80	23	4	2	4	1	
新宿区	3		10	45	2		3	2		
文京	3	1	8	52	5	1				
台東	5	3	7	86	6		6	3		
墨田区	4	1	6	34	5		1			
江東区	2		25	111	11	4	3	4		
品川区			13	115	5	1		6		
目黒区				28		1	1	1		
大田区	11	21	25	166	14	4	14	3	2	
世田谷	1	2	9	159	13	3	4	2		
渋谷区	3	1	4	44	5		1			
中野区	2	4	11	62	3		2	3		
杉並		1	4	120	7		8	2	1	
池袋			1	26	3					
北区	1	1	6	74	6		1	3		
荒川区	2	7	13	48	8		3	2		
板橋区	2	1	4	59	3		1			
練馬区	1	1	24	89	13			4		
足立	1	14	43	95	12	1	3			
葛飾区			8	83	5	1	8	2		
江戸川	4	3	59	124	14	1	21	5	1	2
八王子市	6	2	36	150	32	3	10	5	1	
西多摩	5	1	3	96	20	3	1	1		
南多摩		3	6	57	6		1	5		1
町田	4	1	23	221	21			2		1
多摩立川		1	7	32	8		4			
多摩府中	8	4	20	106	15		5	2		
多摩小平	38	6	33	114	30	1	8	3		
島しょ			1		5					

東京都合計	115	83	419	2,505	307	28	114	67	6	4
-------	-----	----	-----	-------	-----	----	-----	----	---	---

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年51週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2		
中央区				1		2
みなと	9		1	10		
新宿区				11		5
文京				5		2
台東				14		
墨田区				17		
江東区	1			27		1
品川区				50		2
目黒区		1		3		
大田区	2		1	47		
世田谷	1			31		1
渋谷区				9		
中野区		1		9		2
杉並				24		2
池袋				6		
北区		1		24		
荒川区	2			13		1
板橋区	1	1		12		3
練馬区	2			20		1
足立				19		5
葛飾区	5			20		
江戸川				30		
八王子市	2	1		32		3
西多摩				44		
南多摩	3			13		
町田	1	2		24		
多摩立川	3			37		1
多摩府中	1			32	2	3
多摩小平	3			79		5
島しょ	5					

東京都合計	41	7	2	665	2	39
-------	----	---	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		1
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区	1	
品川区		1
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		1
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	3
-------	---	---

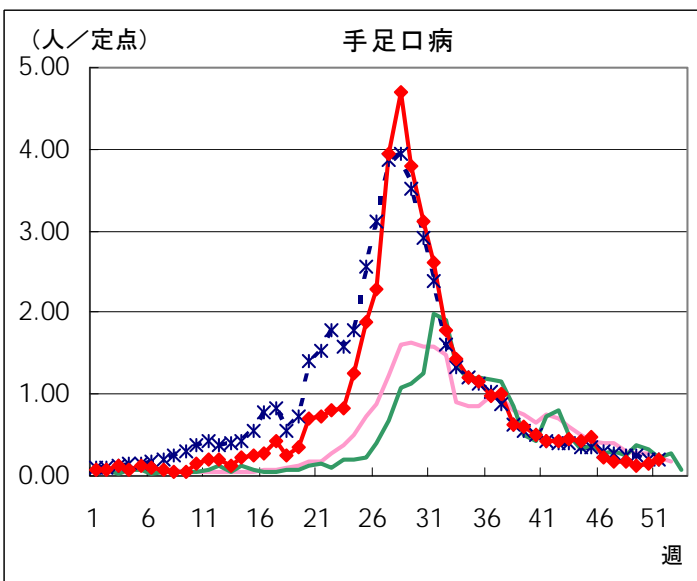
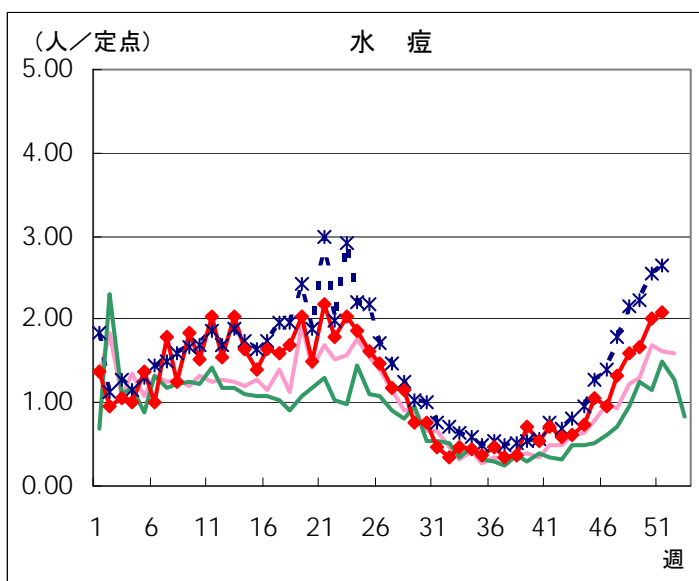
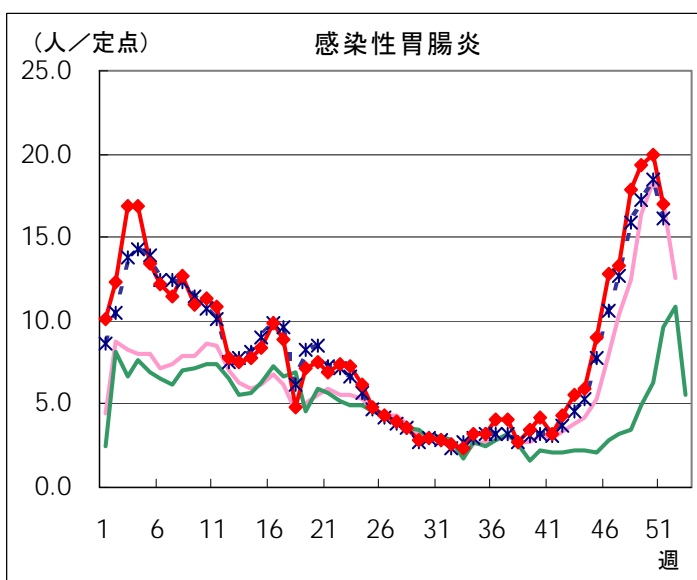
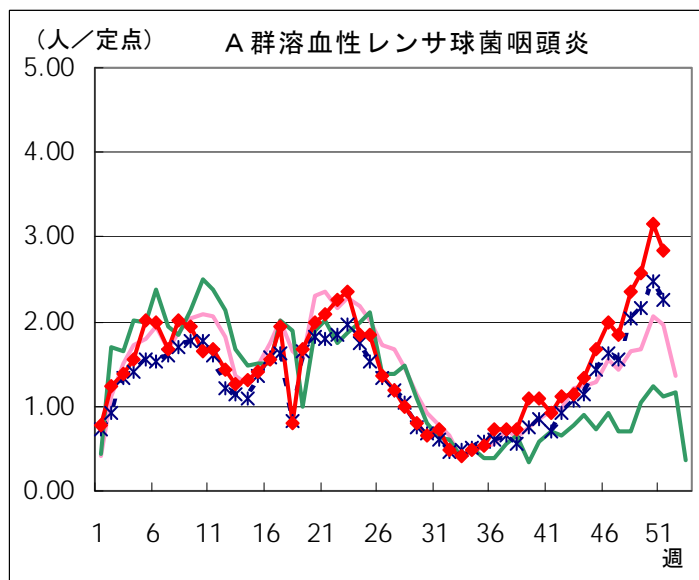
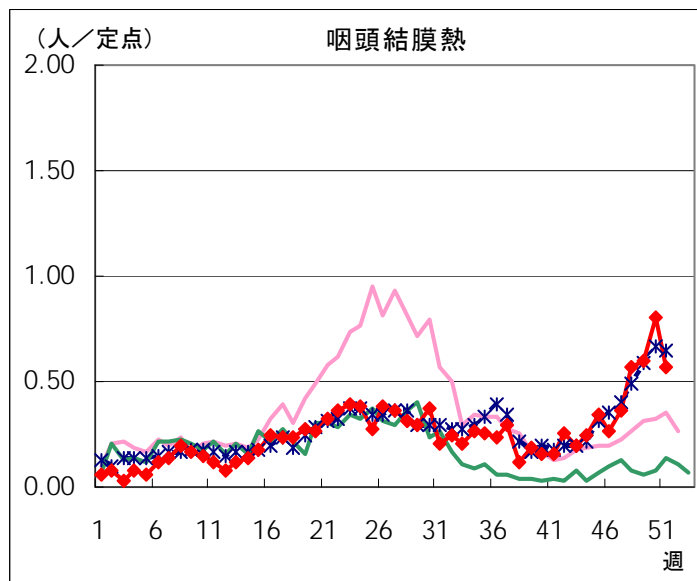
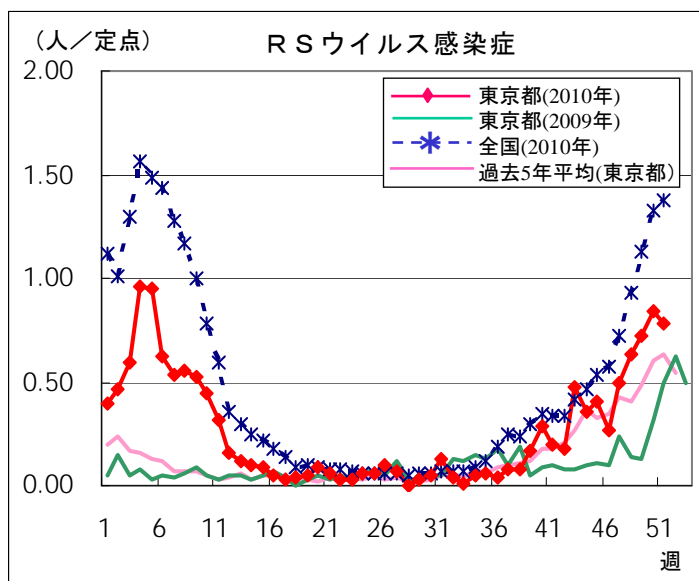
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年51週

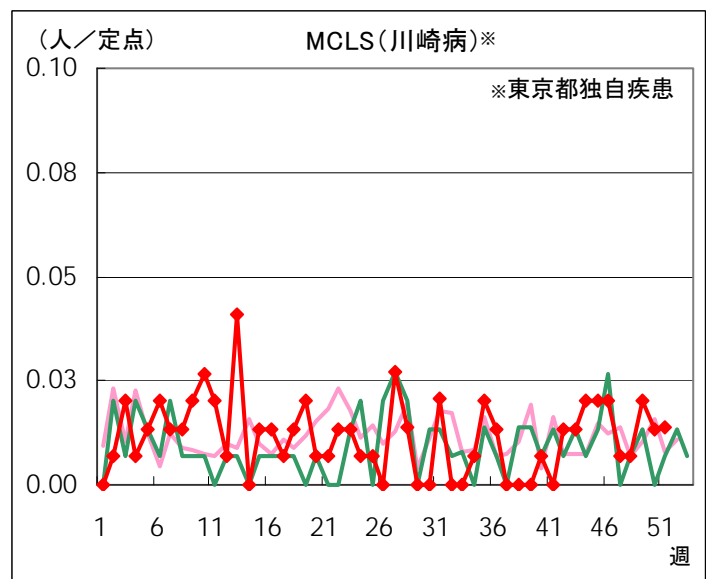
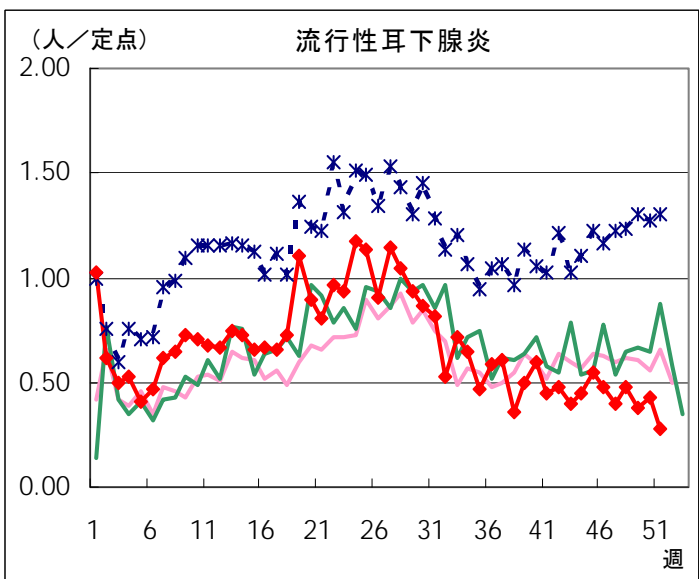
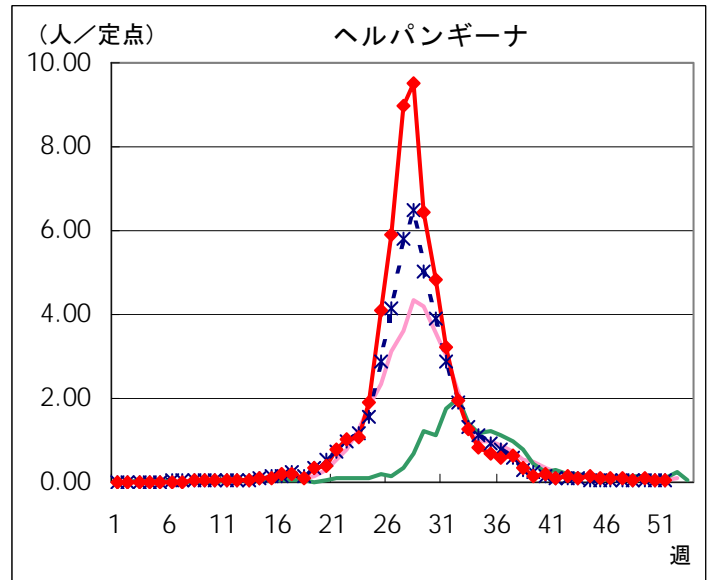
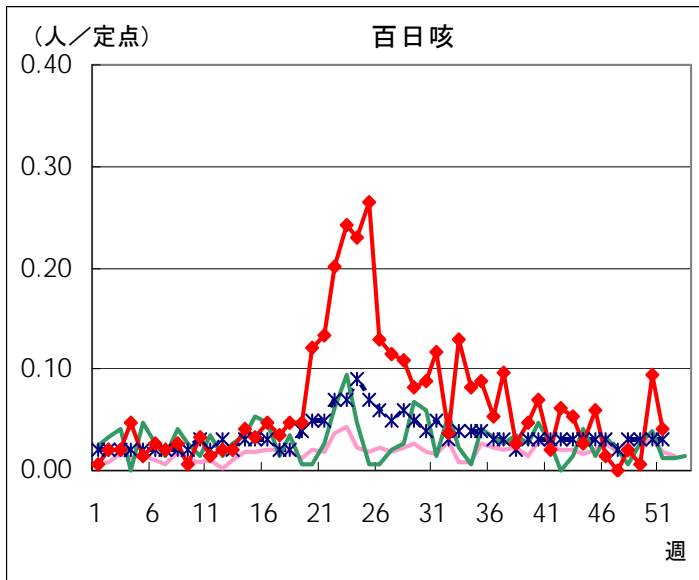
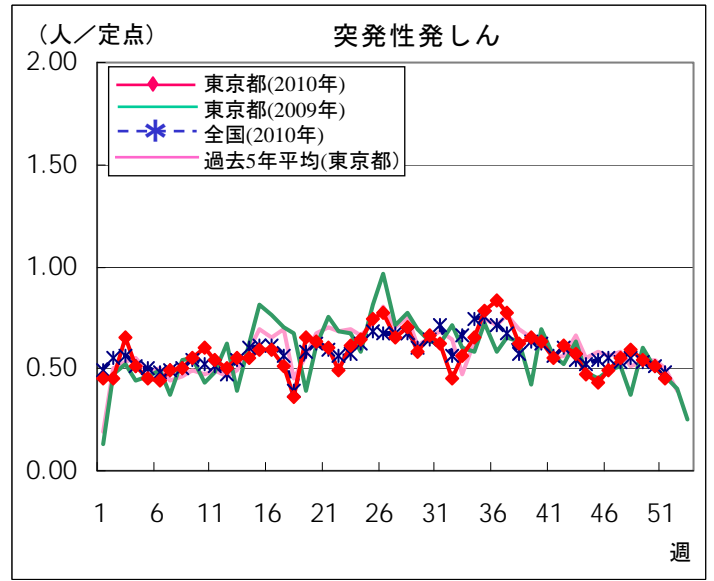
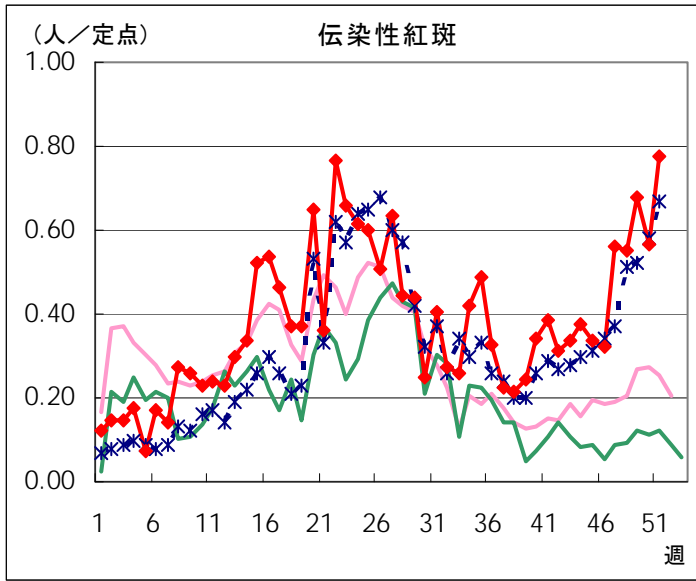
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1.00	0.33		7.67	1.00		0.67	0.33		
中央区				2.00	1.33		0.33	0.67		
みなと	1.00	0.50	1.67	13.33	3.83	0.67	0.33	0.67	0.17	
新宿区	0.50		1.67	7.50	0.33		0.50	0.33		
文京	1.00	0.33	2.67	17.33	1.67	0.33				
台東	1.67	1.00	2.33	28.67	2.00		2.00	1.00		
墨田区	1.33	0.33	2.00	11.33	1.67		0.33			
江東区	0.50		6.25	27.75	2.75	1.00	0.75	1.00		
品川区			2.17	19.17	0.83	0.17		1.00		
目黒区				9.33		0.33	0.33	0.33		
大田区	1.22	2.33	2.78	18.44	1.56	0.44	1.56	0.33	0.22	
世田谷	0.13	0.25	1.13	19.88	1.63	0.38	0.50	0.25		
渋谷区	0.75	0.25	1.00	11.00	1.25		0.25			
中野区	0.33	0.67	1.83	10.33	0.50		0.33	0.50		
杉並		0.17	0.67	20.00	1.17		1.33	0.33	0.17	
池袋			0.25	6.50	0.75					
北区	0.25	0.25	1.50	18.50	1.50		0.25	0.75		
荒川区	1.00	3.50	6.50	24.00	4.00		1.50	1.00		
板橋区	0.33	0.17	0.67	9.83	0.50		0.17			
練馬区	0.17	0.17	4.00	14.83	2.17			0.67		
足立	0.20	2.80	8.60	19.00	2.40	0.20	0.60			
葛飾区			2.00	20.75	1.25	0.25	2.00	0.50		
江戸川	0.80	0.60	11.80	24.80	2.80	0.20	4.20	1.00	0.20	0.40
八王子市	1.50	0.50	9.00	37.50	8.00	0.75	2.50	1.25	0.25	
西多摩	1.00	0.20	0.60	19.20	4.00	0.60	0.20	0.20		
南多摩		0.75	1.50	14.25	1.50		0.25	1.25		0.25
町田	1.00	0.25	5.75	55.25	5.25			0.50		0.25
多摩立川		0.17	1.17	5.33	1.33		0.67			
多摩府中	1.00	0.50	2.50	13.25	1.88		0.63	0.25		
多摩小平	6.33	1.00	5.50	19.00	5.00	0.17	1.33	0.50		
島しょ			1.00		5.00					
東京都	0.78	0.56	2.85	17.04	2.09	0.19	0.78	0.46	0.04	0.03

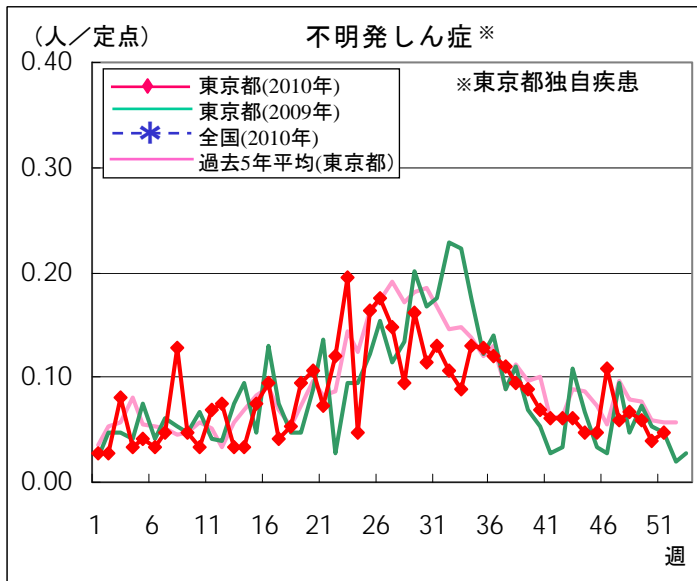
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.50		
中央区				0.25		2.00
みなと	1.50		0.17	1.25		
新宿区				1.22		2.50
文京				1.25		2.00
台東				2.80		
墨田区				2.83		
江東区	0.25			3.00		1.00
品川区				5.00		2.00
目黒区		0.33		0.50		
大田区	0.22		0.11	2.94		
世田谷	0.13			1.94		0.50
渋谷区				1.80		
中野区		0.17		1.00		2.00
杉並				2.00		2.00
池袋				0.86		
北区		0.25		3.00		
荒川区	1.00			3.25		1.00
板橋区	0.17	0.17		1.00		1.50
練馬区	0.33			1.54		0.50
足立				1.58		2.50
葛飾区	1.25			2.22		
江戸川				2.50		
八王子市	0.50	0.25		3.20		1.50
西多摩				4.89		
南多摩	0.75			1.44		
町田	0.25	0.50		2.67		
多摩立川	0.50			2.85		0.50
多摩府中	0.13			1.78	0.67	1.00
多摩小平	0.50			5.64		2.50
島しょ	5.00					
東京都	0.28	0.05	0.01	2.34	0.05	1.00

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年51週現在

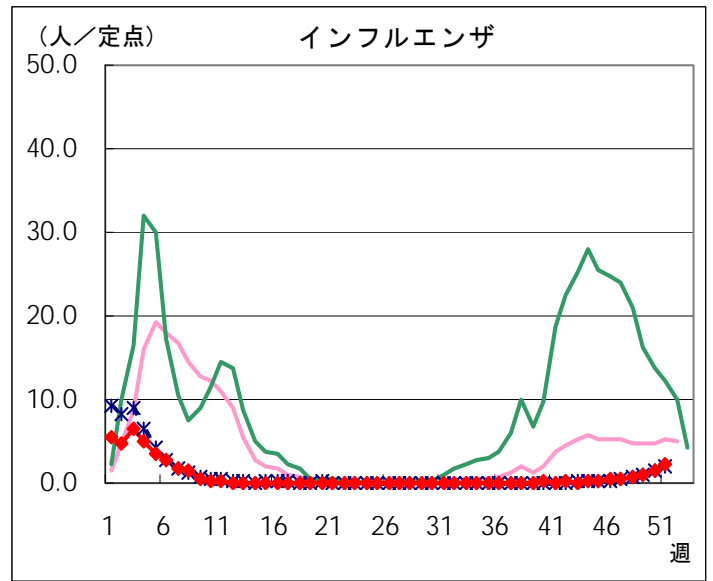
◆ 小児科定点



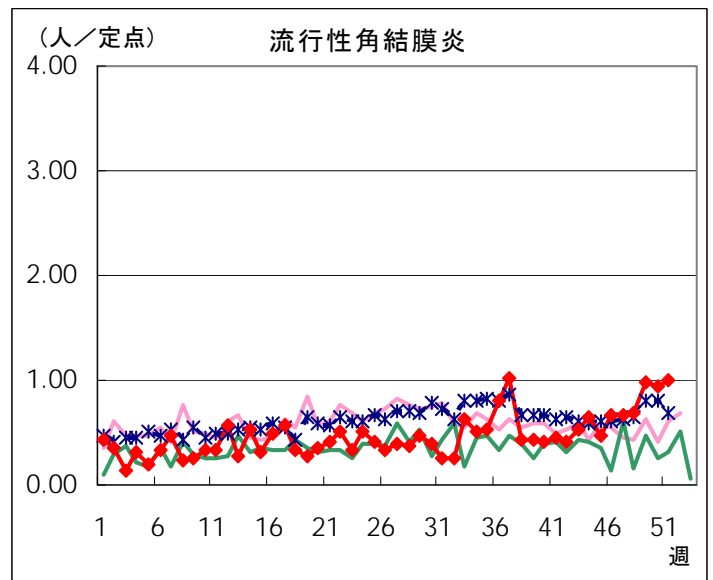
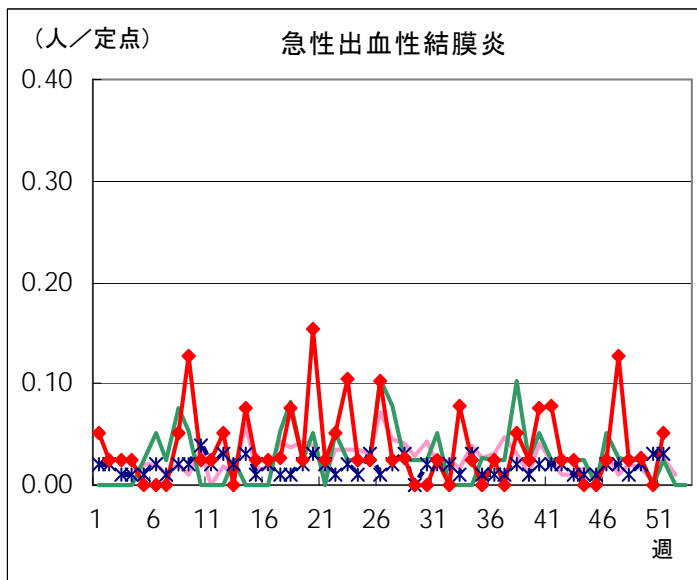




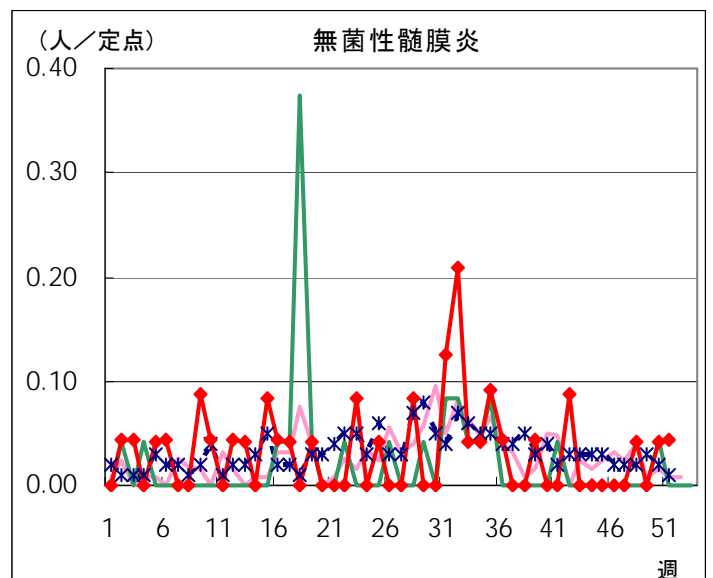
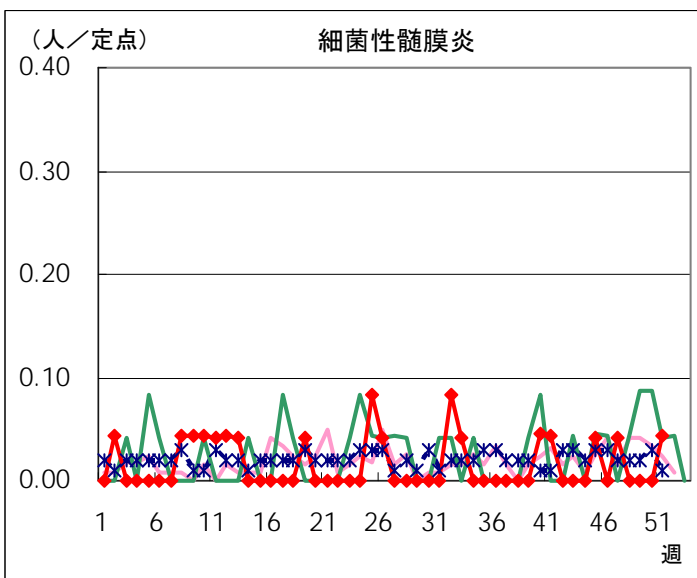
◆ インフルエンザ定点

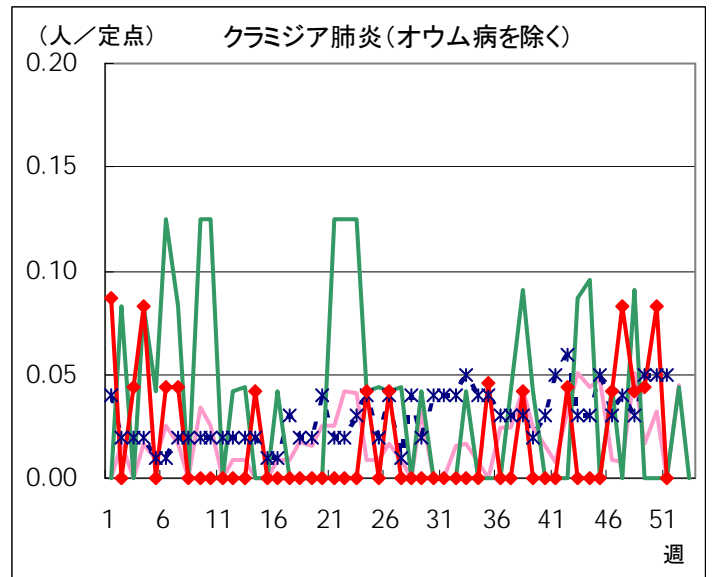
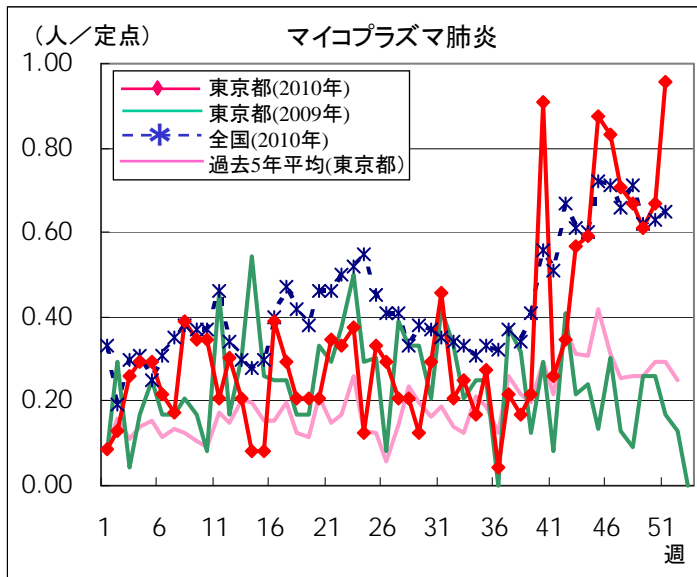


◆ 眼科定点

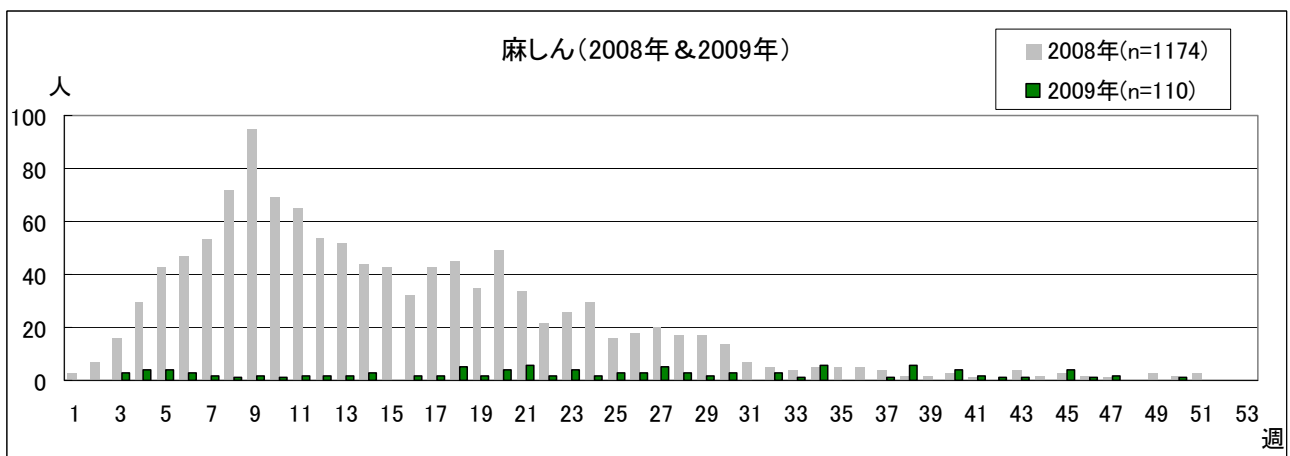
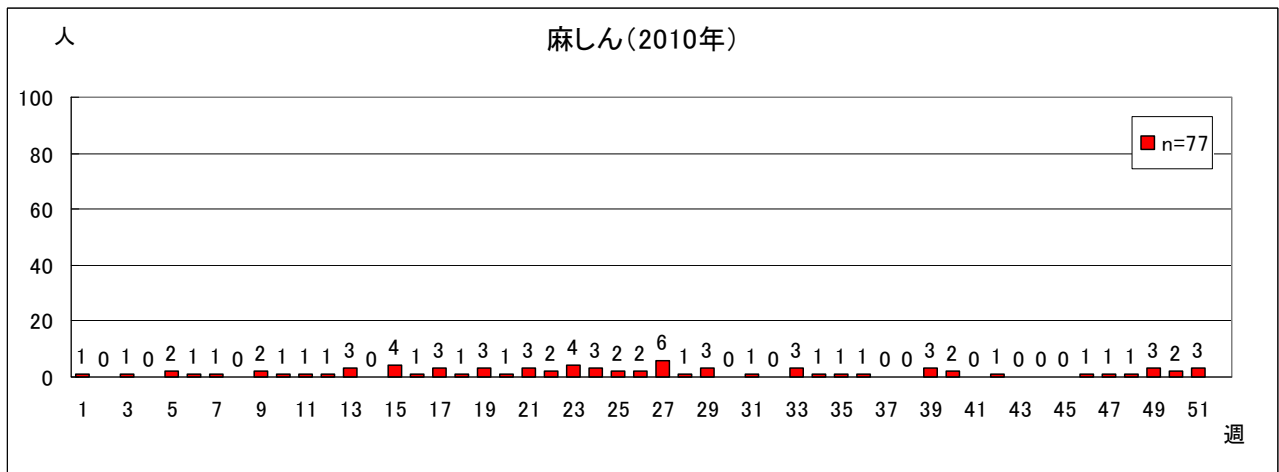


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年51週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
台東区	5	2	7歳児と8歳児はB型。他はA型。
	1	1	
	2	2	5歳児と11歳児はB型。
江東区	1	5	
	1		
	10		
	4		
	4		
	1		
品川区	3		
	3		
	1		
目黒区	2		
大田区	1		
	2		
	7		
	3		
	6		
世田谷	5		
	2		親子いずれもA型。
	1		
渋谷区	1		
中野区	2		
	2		
	1		
	2		
	2		
杉並	1		
	1		
池袋	4		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	7		
			2名。インフルエンザの増加が認められない。今シーズンの流行はあまりないのでは。
	1		
			10名。急速に発生が増加。
八王子市	3		
	11		
南多摩	14		
	1		
	2		
多摩立川	7		
	1		
		1	
多摩府中	2		
	1		

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/6	百日咳	13	後鼻腔拭い液	百日咳菌	遺伝子 分離同定
				メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (コアグラーゼ:IV型) 感受性は①参照	菌型 分離同定 薬剤感受性
12/8	流行性角結膜炎	19	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
12/9	急性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/9	百日咳	4	後鼻腔拭い液	百日咳菌	遺伝子 分離同定
12/9	流行性角結膜炎	30	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
12/10	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/10	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/10	ウイルス性細気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/10	感染性胃腸炎	5	糞便	ノロウイルス(GⅡ)	
12/10	急性咽頭炎	7	咽頭拭い液	EBウイルス	
12/11	肺炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/12	ウイルス性細気管支炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
12/13	肺炎	7M	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/13	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
12/13	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/13	気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
12/13	急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス(GⅡ)	
12/13	急性扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/13	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/13	肺炎	9	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
12/13	伝染性紅斑	11	咽頭拭い液	パルボウイルス	
12/13	不明発しん症	11	血液	パルボウイルス	
12/14	ウイルス感染症	1	糞便	エンテロウイルス	
			咽頭拭い液	パルボウイルス	
12/14	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/14	ウイルス感染症	4	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/14	急性咽頭炎	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型 ※1 アデノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/15	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	遺伝子
12/15	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/15	喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
12/15	不明発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
12/15	感染性胃腸炎	2	糞便	ノロウイルス(G II)	
12/15	耳下腺炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/16	乳児嘔吐下痢症	10M	糞便	ノロウイルス(G II)	
12/16	急性気管支炎	11M	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/16	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/16	急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/16	耳下腺腫脹	記載なし	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/17	急性胃腸炎	4M	糞便	ノロウイルス(G II)	
12/17	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
記載なし	乳児嘔吐下痢症	8M	糞便	ノロウイルス(G II)	
記載なし	肺炎	記載なし	咽頭拭い液	肺炎球菌	
記載なし	肺炎	記載なし	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	

※1：下記「遺伝子検査法によるインフルエンザの亜型」の集計数に含まれる

薬剤感受性検査結果：メチシリン感受性黄色ブドウ球菌

参照番号	CEZ	CTX	IPM	EM	CAM	GM	VCM	MINO	OFLX	ABPC	MPIPC
	セファゾリン	セフトキシム	イミペネム	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	ゲンタマイシン	バンコマイシン	ミノサイクリン	オフロキサシン	アンピシリン	オキサシリン
①	s	s	s	R	R	s	s	s	s	R	s

s: 感性(感受性), I: 中等度, R: 耐性

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型*)
50週	0	4	0	7
2010-2011年 シーズン累計**	0	38	3	23

*：新型インフルエンザ(pandemic H1N1 2009)。

**：2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
ウイルス	アデノウイルス	3	2	10	12	9	12	12	11
	ライノウイルス	2	8	10	3	5	4	8	7
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	11	3	3	4	2	10	1	2
	単純ヘルペスウイルス			1	1				
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2	2	2	3		3	1	
	EBウイルス	1	1				2		1
	サイトメガロウイルス		1		2				
	ムンプスウイルス	3	1					2	
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	2	1		1		1		3
	RSウイルス	5	3	7	2	4	8	8	15
	ノロウイルス	3		2		4	16	6	6
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	2	3	8	3	3	5	3	4	
インフルエンザウイルスB				2					
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	1		2	1	1	1	8	7	
デングウイルス(抗体を含む)			3						
その他のウイルス					1				
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌					1	4		
	百日咳	1		2	4	4		1	2
	マイコプラズマ	2	3		1		1		1
	その他の細菌	2		3	1	3		2	2
その他の病原体				1					

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年43週～2010年50週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	78	52	144	51	18	6	13		7	7	22	5					90	
ウイルス	アデノウイルス	3	17	18	3		3	7				9					11	
	ライノウイルス	2	4	22	8					2	1	2	1				5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	5	5	6	6	3				4		3						4
	単純ヘルペスウイルス		1					1										
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7			1							1	8						3
	EBウイルス		2			1				1			1					
	サイトメガロウイルス											3						
	ムンプスウイルス					2							4					
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											3	4					1
	RSウイルス		6	41			1			1								3
	ノロウイルス			1	34													2
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	30	1																
インフルエンザウイルスB	2																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	20		1															
デングウイルス(抗体を含む)																	3	
その他のウイルス																	1	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		5															
	百日咳			11													3	
	マイコプラズマ			6													2	
その他の細菌			11														2	
その他の病原体			1															